

令和5年度 学校評価 自己評価書（3学期）

1 学校の重点目標

- (1) 基礎的・基本的事項の定着および主体的に学ぶ態度と思考力、判断力、表現力の育成。
- (2) 自他の人権を尊重し、ほかほか言葉・行動を進んで実践できる児童の育成。
- (3) 安全に気を付けた行動ができる児童、体力づくりに積極的に取り組む児童の育成。
- (4) お互いに協力しながら、なりたい自分に向かって努力し続ける児童の育成。

2 課題と改善策

〈4段階評価〉

	評価項目	評価						評価結果と改善方策
		職員			児童			
		①	②	③	①	②	③	
1 よく考え	(1) 個に応じた指導やICTを活用した指導 (2) 学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び、対話や表現力向上をめざした指導 (3) 学習を見通す力の育成と学力の定着・向上のための指導 (4) 学習習慣と読書習慣の定着を図るための指導	2.7	2.8	2.9	3.8	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年末の学習のまとめで1年間の学習内容の定着を図ることができた。 ・ 一人学びや共有の時間を多く設け、主体的な学びを充実させた。 ・ 高学年では読書活動の充実を図る必要がある。
2 素直で	(1) 人権意識と自他を尊重し認める感情の育成 (2) ほかほか言葉・行動や気持ちのよいあいさつ、良い反応の推進 (3) ボランティア活動、無言清掃、美しい環境づくりの推進 (4) 情報モラルを意識した情報活用能力の育成	3.3	3.2	3.2	3.7	3.4	3.6	
3 ねばり強い	(1) 安心・安全に学校生活をおくる習慣の定着と安全な環境づくり (2) 規則正しい生活習慣の定着 (3) 感染症対策を踏まえた新しい生活スタイル (4) 体力づくり、健康づくりの習慣化	3.1	3.3	3.2	3.9	3.8	3.9	
4 平川の子	(1) キャリア教育（自己実現やよりよい社会の実現）の推進 (2) 仲間づくり（SST, SGE）や教育相談による積極的な生徒指導の推進 (3) いじめ・不登校への早期対応のためのチーム支援体制の確立 (4) まちづくり協議会、あいご会、PTA等との連携した行事運営や交流推進	2.9	2.9	3.4	3.4	3.4	3.5	
○	自己肯定感を高めるための取組の工夫	3.3	3.2	3.3	・ 仲間づくり、ほかほか言葉・行動の実践に努めている。			
○	4S運動（整理、すっきり整頓、スリム化、賞賛）の推進	3.1	3.1	3.2	・ 働きやすい環境づくりに努めた。			
○	校務分掌業務の効率化、工夫、改善	3.0	3.3	3.5	・ 引継の作成、一覧表の掲示により見通しをもつ。			
○	個人として、働き方改革を進める工夫や努力	3.0	3.5	3.6	・ 定時退庁日を除いて、18:30までの退庁を実践できている。			
○	組織として、働き方改革を進める工夫や努力	2.9	3.4	3.2	・ 安全衛生部会で時間外勤務の報告や業務改善員に向けた具体的な資料や情報の共有を行った。			
○	教育公務員として服務規律の厳正確保について高い意識をもった言動	3.4	3.6	3.7	・ 連絡会等や会議の後に服務について話題にし、各々が自覚ある行動をとれている。			

3 次年度に向けての取組

- 学習のきまりを定着させる。（小・中連携研修会の共通実践事項の確認及び実践）また、諸調査の結果分析から授業改善を図り、Web問題や、デジタル問題、練習問題に取り組むことを通して学力の定着・向上を図る。
- 情報モラルについて、個人情報の取扱いやフィルタリングの設定等、児童に繰り返し指導するとともに、保護者への啓発も継続して行っていく。